広島市老人大学院 OB会ニュース

発行責任者
OB会会長 小松 清志

年頭のご挨拶

ＯＢ会会長　小松　清志

明けまして
おめでとうございます

会員の皆様は恙なく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

「去年今年（こぞことし）」大晦日の深夜から元日の早朝にかけて、時の流れは魔法のようです。さっきまでざわついていた年の瀬の空気が、一変し静かに引き締まっています。年改まる和やかな朝は、一茶の「めでたさも中位なりおらが春」正月といって特別めでたくもないが、去年ともなく、ことしともなく一夜明ければ、何となく改まった気がして、いくつ歳を重ねてもありがたいものですね。

元旦の早朝は水浴をして、若水を汲み神様にお供えをする、一歩玄関を出ると手づくりの門松としめ縄で年神様お迎えし新春を寿ぐ、いくらか古代ののどかさのようなものがあります。

三が日に降る雪や雨を「御降（おさがり）」と言います。めでたい日の自然がもたらす生憎の空模様をご先祖様は天からの授かりものとして美しい言葉で表してきました。言葉に宿る霊力が幸をもたらすと信じてきた民族ならではの発想なのでしょうか。

顧みれば、昨年は諸事多端な一年でありました。老人大学院ＯＢ会の審議未了の懸案事項であった会則・施行規定及び趣味の芸能発表会開催要綱を臨時役員会の議決を経て皆様方のご協力のもと改正し、またそれに伴う組織の一部を変更しました。

未だ道半ばの感は致しますが、27年度に向け一歩一歩地固めをしながら前進して行く所存です。

どうぞよろしくご協力賜わりたくお願い申し上げます。

「年々歳々花同じ、歳々年々人同じからず」来年度に向け役員人事をはじめ諸準備は進めております。

「明るく・楽しい・生き甲斐づくり」を目的としたＯＢ会をめざし役員一同、皆様と共に邁進いたしたいと思います。

本年も宜しくご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。

総務部ニュース

■Ｈ26年度Ａ班Ｂ班合同懇親会の開催

今年最後の合同懇親会がひろしま国際ホテルで開催されました。

・Ｂ班（５・６・７・８班）
11月19日（水）47名参加

・Ａ班（１・２・３・４班）
12月５日（金）58名参加

私共役員はサポートさせてもらい、各班長・副班長の紹介を終え、顧問の乾杯にて開宴となりました。

ＡＭ11時30分～ＰＭ２時30分間での短い限られた時間の中、良く食べ・喋り・飲み・歌い…楽しい一時でした。

特にＡ班の皆様の芸達者には感心しました。元気の源はここですね。

Ａ班では最後の時間が足りず延長をホテル側と交渉しましたが、次の予約が有り残念でした。

（もう少しカラオケを
聞きたかったのに（；；♪））

皆さまお元気で良い年を迎えましょう。

一年間有難うございました。

（副会長　進藤　里枝子）

■平成26年度の行事

・1月6日(火) 安全祈願祭及び
新年互礼会
・2月4日(水)各事業部部会予定
・3月27日(金)役員反省懇談会
・4月2日(木) 会計監査及び
決算役員会
・4月10日(金) テキスト及び
総会議案書校正委員会
・4月17日(金) テキスト及び
総会議案書最終校正
・5月1日(金) 平成27年度
総会準備役員会及び
新任役員会
・5月7日(木) 開講式会場事前
打合せ、備品等の確認

■OB会会員の継続手続き

・1月講座日 継続更新の手続き
書類の配布
・2月講座日 継続更新の手続き
開始
・5月8日(金) 平成27年度
開講式及び第1回講座及び
定期総会
<広島県民文化センター>

■平成27年度に向けての諸準備

・1月5日(月) 平成27年度
OB会新入会員募集説明会
・1月19日(月) OB会新入会員
入会申込手続きの開始
・3月11日(水) 平成27年度
事業計画・予算編成会議
・3月19日(木) テキスト及び
総会議案書作成委員会(1)
・3月26日(木) テキスト及び
総会議案書作成委員会(2)

学習部ニュース

◆赤い羽根共同募金活動

11月11日(火) 広島共同募金会(福祉センター総務部事務局)主催の街頭募金活動に大学、大学院と共にOB会も執行部、学習部13名が参加して紙屋町そごう前やエデイオン付近でお昼時に行いましたが、過去最高額の4万円余りの募金が集まりました。

ご協力ありがとうございました。

◆平成27年度の講師選定

11月12日(水)学習部会を開催し執行部と協議のうえ、推薦講師28名の中から11名を内定しました。

後日、講師内定者に依頼、日程調整を経て、2月に27年度の講座計画を確定する予定です。

◆平和記念公園クリーンボランティア活動

雨上がりの12月12日(金)10時、年末恒例の清掃活動を大学・大学院・OB会総勢約220名の多くの参加者が慰霊碑前に集まり、黙祷に続き、小松会長挨拶の後約40分の清掃活動を行い見違えるようにきれいになりました。寒い中多くの方のご協力ありがとうございました。

◆OB会講座概要

【第7回(11月)講座の概要】

「音楽療法とは何か?」

音楽療法士　久保敬子

先生はエリザベト音楽大学でパイプオルガンを専攻卒業され、更にピアノ、声楽も勉強されております。兵庫県にお住まいの時、阪神淡路大震災にあわれ、その後、兵庫県音楽療法士に認定され、被災者に「音楽による心の傷の癒し」として貢献されています。広島に戻られて、現在は県内各地で、音楽療法士として活動されています。

この度の講座では、音楽療法とは「クライアントとセラピストが音楽を介して構築される治療学である」ことの説明から実体験として、発声練習から「紅葉・赤とんぼ・港」の合唱、講師のキーボード演奏で「琵琶湖周航の歌」の合唱、また楽器、トーンチャイムなどの実体験があり、後半では講師による「エターナリー」「ムーン・リヴァー」のピアノ演奏、「アベマリア」「小さい秋みつけた」のソプラノ独唱も披露されました。

【第８回(12月)講座の概要】

「絵葉書の中の広島～　閉じ込められた街の面影」

郷土資料館　学芸員　本田美和子

本田講師は県埋蔵文化財調査センターや広島城をへて現在広島市郷土資料館で学芸員として活動されています。

明治４年に郵便制度が始まり、明治33年に初めて私製葉書が認められ、絵葉書が登場する。明治39年に「日露戦争記念官製絵葉書」が大ブームとなったことを契機に、名所案内・記念行事・事件・美人・広告などを扱った多種多様な絵葉書が日本中で膨大に発行されるようになった。絵葉書が単なる葉書として利用されるだけではなく、マスコミが発達していなかった時代の貴重なメデイアとして機能していた。

広島でも明治末期・大正・昭和に亘り名所、建築物、軍隊、記念、宣伝用と多くの絵葉書が発行されました。そんな中には現存しないものも多くあり、絵葉書の中に広島の当時の風物、歴史を垣間見た思いのする興味深い講演であった。

研修部ニュース

◎紅葉を訪ねて

研修部部長　片山　長官

今回の研修旅行で、50年振りに中国山地の紅葉を求めて帝釈峡を計画しましたが、台風シーズンと紅葉の時季が重なるため日程の選定に苦労しました。20～30年若かったら縦走も考えましたが、遊覧船観光にさせて頂きました。

「果実の森公園のリンゴ狩り」では、自分の年齢を考え皆さんに「昼食前だから食べ過ぎないように注意したのですが・・・。」要領よく大根おろしを準備して来ておられる方もおられました。

反省点は、女性用のトイレ数が少なかった事と、山間部で一度に12８名が昼食会場に訪れたので、コンロ数が揃わず迷惑をおかけした事をお詫びします。

◎京都一泊研修旅行の案内

一泊旅行で京都の「湯の花温泉」に泊まり、平素の疲れを癒して頂き、次のような計画をしておりますので多数ご参加下さい。

参加申込受付(A)班　1月7日講座日
(B)班　1月14日講座日
申込締切日　(A)班　2月4日講座日
(B)班　2月18日講座日
施行日　3月17日(火)～18日(水)
行先地　「冬の京都特別拝観と宇治平等院鳳凰堂」
湯の花温泉(泊)

初日の冬の京都特別拝観は、世界文化遺産「竜安寺の石庭」は勿論、3／10～18日まで秘宝の茶室「蔵六庵」と、115年ぶりに里帰りした襖絵「群仙図四面」を拝観します。

２日目は、京都三大祭り「葵祭り」で名高い世界文化遺産「下鴨神社」を参拝し、特別拝観「十二単王朝の舞」を拝観します。

その後、新装なった世界遺産「宇治の平等院・鳳凰堂」を拝観して帰ります。

趣味のサークル活動

◆絵画サークル

絵画サークルは現在22名、内OB会員は7名です。月の第一、第三水曜日の午後一時から四時迄です。

集中して描いている時間は、せいぜい一時間半から二時間ですが、各々に持参した画材に集中している様子は、自分も含め皆さんやはり絵が好きなんです。

描いた絵を先生に見て頂いたり、手を入れて頂いたりで穏やかな時間が過ぎて行きます。

年に一度は野外スケッチに行きます。先日11月19日、縮景園に行きました。いつもの室内とは違い、開放された気分で良い作品が出来たのではないかと思います。

私達は年々歳を取ります。しかし、自分に趣味がある、楽しむものがあるという事はすばらしい

事だと思います。

足腰が弱っても、一本の鉛筆と紙、絵具があれば楽しめます。ご一緒にいかがですか。（35期　東 道子）

◆パソコン同好会

パソコン同好会は、約五十人のメンバーが2班に分かれて、市民交流プラザのパソコンを使って毎月勉強会を開いています。パソコンは通常自分持ちで、屋外で使うときは重いのを引っ提げて持ち歩くのですが、これがまた結構負担で老人の身には少々こたえます。ここ市民交流プラザでは40台のパソコンが設置されていて、この利用者も多く、使用する予約もままならぬ状態です。

講座では十数名のアドバイザーが配置されていて、わかりにくいときは手を上げると個別に懇切丁寧な説明を受けることになります。

課外の行事として、春には日帰り旅行、年末にはホテルのフロアーを借り切って忘年会、秋には「フォト5・7・5」の作品展示会の開催などが恒例となっています。この展示会では会員以外の方もたくさん鑑賞していただき、大勢の皆さんにご協力いただき感謝しています。

日帰りの旅では、今年は重源の郷、昨年は福山の鞆、一昨年は瀬戸田の耕三寺で楽しみましたが、それぞれの場所の雰囲気を十二分に味わうとともに、大型バスを借り切っての旅はお互いの親交を深め、ますます絆を深める次第です。

また別の機会があれば日帰りの旅の楽しさ、面白さを紹介してみたいと思います。（28期　三藤 正敏）

◆七宝焼きサークル

私が、七宝焼きサークルに入部するきっかけは、大学祭でした。

先輩方々の作品や色付けに、素晴らしく感動しました。なかなか思う作品が出来ませんが、釜だしの時には出来ばえにわくわくします。

サークルは、第二・第四火曜日、時間は十時～十五時です。

今年は、三名の新入会員を迎え、廣田先生の指導を受け、作品作りに、おしゃべりに和気あいあいと、楽しんでいます。（34期　大谷 恵美子）

◆水墨画同好会(墨遊会)

私たち同好会は毎月第1・第3の木曜日が定例の講座日です。講座当日、前回講座日の宿題作品を掲示して、先生から個々の作品の講評を頂き、その後各々の席を廻られ、次回の宿題作品についてのきめ細やかな指導をなさいます。講座終了後、会員は一時間ばかりお茶を楽しんで解散というのが恒例となったようです。例年秋口に一週間程度の「作品展示会」を開催し、多くの皆さんにご意見等を頂く事を楽しみにして、来年へ向けての出展を目指し、必然会員の作品作りにも力が入り始めた処です。

若干気になる点は、会員の平均年齢が80歳少々と少し高いことですが、皆さん年齢を感じさせないくらい元気で作品制作に取り組まれている姿を見ると、今のところ心配ご無用のようです。

また、会では出展作品を「作品集」に纏めて会員に配布し、いつでも自分の足跡を振り返ることができるようお手伝いをして好評を得ています。

今年度は会員12名でのスタートで、和気藹々の同好会は、現状の存続発展を目指し、一層の親睦を図るために、年3回「懇親会」と会員の希望に従って、ときには「昼食会」を開催し、食事をしながら井戸端会議風の会話で、素敵な時間を過ごす事を恒例にしています。水墨画に興味のお持ちの方、ぜひ一度、教室を覗きにきて頂けませんか？お待ちしてま～す。（26期　長尾　恵）

編集後記

会員の皆さま、お元気で新しい年をお迎えになられたことでしょう。

今年度ＯＢ会ニュースは第41号で最終号となりました。ご投稿ご協力頂きましたＯＢ会員の皆様に編集委員一同深く感謝しております。

大変ありがとうございました。

（文化部一同）